



6年
土屋真理子さん

※歌を歌っている人の絵を描くことにしました。髪の毛を一本一本でいねいに描きました。

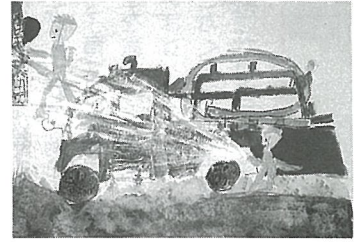


『歌を歌っている人』



2年
行方かずき君

※ホースから水が出てくるところが、水に見えるか心配しながら色をぬりました。



『しょうぼう自動車』



『うんていでジャンケンをする友達』



5年
行方 佳美さん

※友達と「うんてい」で遊んでいる様子を描きました。色を混るのに苦労しました。



『回せんとうで遊ぶ友達』



4年
布施 清香さん

※髪の毛を描くのが大変でした。でも、かいてせんとうが回っている様子がよく出来ました。



6年
越川真由美さん

※床の色づかに気をつけ、また、目下に向くように描くのが大変でした。



『そうじをする人』



3年
土屋 智紀君

※しょうぼう自動車を大きく、また、細かいところまできちんと描きました。



『しょうぼう自動車』

あつまれみんなの力作



ひかり歌壇

伊藤 定男（尾垂五区）

凶作の去年まざまざと傷ましき播種期迎えて不安先きたつ

農業に携わる人皆の思ひを表現されました

伊藤 鏡子（虫生）

雪となり佇びしく暮るる庭陽に万年青の朱実いと際立つ

殺風景な冬庭に万年青の朱実のいとほしさが余情となりました

高梨 キヨ（木戸）

遠き子に僅かなれども米送る雪積む北は春まだ浅き

国を挙げて米の欲しい今日此の頃優しい親心がほのぼのと感じられます

竹内 紀葉（篠原）

父母すでに亡き故郷に高齢の義姉と語らひ心寄せ合ふ

身内の寂しくなる身辺何時迄もやはり生家は懐かしい

評者 竹内 紀葉